

「いちご狩り」からスマート農業とSDGsを学ぶ



実施
学校名

東京都立足立工科高等学校

日時

令和7年2月10日（月）

場所

いちご農園（茨城県）

プログラム 概要

- ・茨城県にある最先端技術を取り入れたいちご農園で、まず、施設の見学やいちご狩りの体験をしました。その後、SDGs実現を目指しながら経営を行う農園の取組を、オリジナルのゲームを活用しながら学びました。
- ・農園経営とSDGsについて学べるカードゲームや最先端施設の見学、未来型のスマート農業に従事する方の話を聞くことで、農業に対するイメージが変わり、生徒自身が将来のキャリアを考える機会となりました。

体験風景

1 農園施設の見学



生徒は、かん水棟を見学しました。農園の方から、かん水棟で調整された水と肥料が、各ハウスに供給され、185,000本のいちごの生育を支えている、農園の心臓部であるとの説明がありました。

2 農園の取り組みについての講話



いちごの生産・販売だけではなく、万が一傷や熟しすぎなどで規格外となったいちごは、ジャムや冷凍いちごに加工しているとの説明をうけました。生徒は、廃棄物の削減の取組についても学びました。

3 いちご狩り体験



日本国内でも数少ない、棚が上下に動くリフティング式栽培システムを採用した農園で、茨城県のオリジナル品種のいちごなど6品種のいちご狩りを体験しました。

4 農園経営ゲーム体験



生徒は、生産能力向上に必要な資金調達や販売力強化のための選果場建設など、いちご農園の経営に関する要素が取り入れられたゲームを通して、SDGs実現を目指しながら、未来型農園の経営について学びました。

参加した 生徒の声・ 反応

- ・いちご農園の見学を通して、次世代農業に必要な技術を理解することが出来ました。また、その技術がどのような機能を持ち、どんな恩恵を与えるのかを理解しました。
- ・いちご狩りを楽しむだけではなく、SDGsについても学ぶことができました。いちごを生産する農園を、どのように経営すれば地球に優しいのかを理解することが出来ました。
- ・実際にSDGsを考慮した農業の現場を見ることで、農園への理解が格段に深まりました。正に百聞は一見にしかずだと思います。